

アルパック ニュースレター



京都橘女子大学「清心館」が竣工しました

アルパック ニュースレター もくじ

1993年5月1日

- 京都橘女子大学の4本の柱…………… 2
- 地域主体の地域産業方策を…………… 4
- エチオピアの地域づくり…………… 5
- 岩滝町 ユニークな医師派遣システム・与謝の海病院…………… 7
- 新入所員紹介…………… 9
- 念ずれば、花開く…………… 10
- 日本人との付き合い…………… 11
- うまいもの通信⑩…………… 12
- 新刊旧刊書評紹介…………… 13
- まちかど…………… 14

NO. **59**

京都橘女子大学の4本の柱

— 京都橘女子大学第2教室棟「清心館」が竣工しました —

高坂 憲治

京都橘女子大学に懐かしくて懲りない面々が再び集い—仕事しました。

建築するということは、長い時間とエネルギーと多くの人々の協力を必要としますが、京都山科の音羽山の麓にあるこの小さな女子大学が、延々15年にわたってキャンパスの再整備を行ってきたことには頭の下がる思いです。

昨年京都橘女子大学は開学25周年を迎えられました。それは京都橘女子学園創立90周年にあたる年でした。

1978年に始まった京都橘女子大学キャンパス再整備事業は、10年間の第1次マスタープランに続き1989年から第2次マスタープランに基づく再整備事業がスタートしています。第1次の再整備事業は教学環境の充実にあてられ、第2次のそれは、大学とりわけ私学を取り巻く厳しい社会状況を乗り越え、21世紀を展望した大学づくりにあてられています。

3月25日、前日来の雨もあがったこの大学で第2教室棟の竣工式が行われました。「清心館」と名づけられたこの教室棟は、時代の要請の中で京都橘女子大学の教育理念を实践する器として計画されています。情報教育に対応すべくパソコン教室を3室設けたのを始

めとして、新カリキュラムの編成に伴い小人数教育をさらに推し進めるためのゼミ室2室を含む小教室4室を新たに設けました。

それぞれにAV設備を装備していますが、特に300人収容の多目的大教室は様々なAV設備をもっており、講義のみならず学生の諸活動や情報発信の場として計画されました。

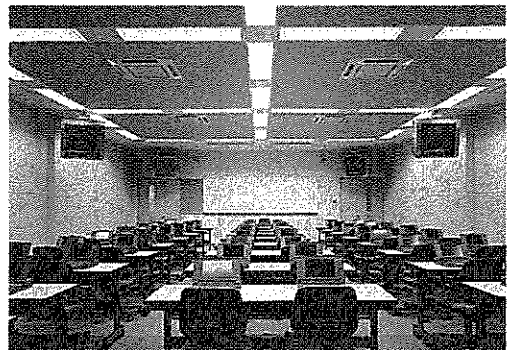
また、学生の強い要望であった第2食堂も整備され、25周年に因んでvingt-cinq ans (フランス語で25の意味)と名づけられました。

京都橘女子大学は、音羽山を背景に山科をみおろすことのできる自然と都市の結節点に位置しており、この中で「清心館」は学生や教職員の動線の中心にあたる広場に面しています。また本大学は、昨年「女性歴史文化研究所」「外国語教育センター」を開設し、国際交流を進めるなど、様々な活動を展開しています。「清心館」はこのような京都橘女子大学の環境や活動のクロスオーバーをデザインとして表現しました。

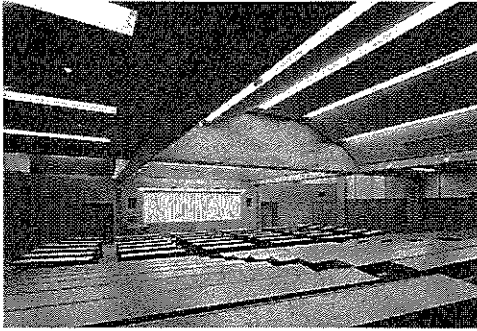
このクロスオーバーは大学の方々と職人さん達の間でもみられます。冒頭、懐かしく懲りない面々がまた集まったと書きました。古い話で恐縮ですが、本紙18号(1986.7)で京都橘女子大学図書館研究室棟の現場で作った



第2食堂 Vingt-cinq ans



パソコン教室



ゼミ教室

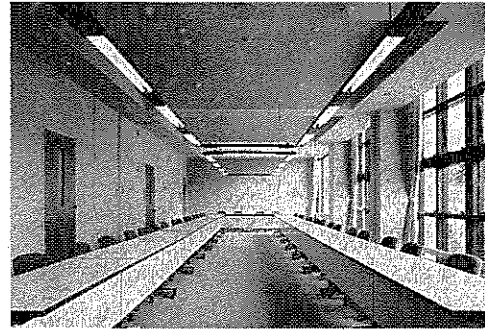
冗談集（文集）のことに触れています。この文集を作った面々が、それからずっとこの現場にやって来てくれます。大学の方々とも古い友達と再会するように話をしながら仕事をします。昔と同じように大学の方々と交えてソフトボールをしました。若返りの進む大学に対して、8年前と比べて8つ歳をとっただけの職人さんチームは、「打倒大学」の意気は盛んでしたが、敢えなく、しかし、にこやかに敗退しました。ここに集まった人々は、皆それぞれ自分らしい仕事をして帰る。それがこの現場の鉄則です。その1つ1つの仕事を素材として建築に織り上げることが自らの仕事だと思ってきました。

さて、話は変わりますが、この「清心館」と学生会館、体育館との間に小さな広場を造りました。この広場はVingt-cinq ansと一体になっており、柔らかな陽射しの中で食事や語らいを楽しんでもらうと共に、3つの建物の関連を強調するためのものです。

この広場に4本の柱をモニュメントとして



広場 4本の柱

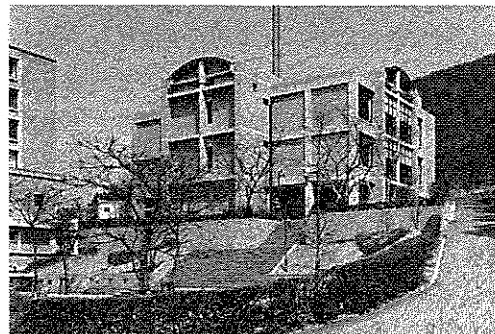


3階 多目的大教室

デザインしました。鏡面に仕上げられた4枚の穴あきステンレス板を頭にのせた、それぞれ高さの異なるこの4本の柱は青春の樹をイメージしたものです。青く澄んだ空を映し、白い雲を映し、大学を包む周囲の緑を映し、吹き抜ける風の音を聞くことができるこの青春の樹に、明るい太陽に向かってのびやかに育つ4年間のキャンパスライフを象徴させています。

15年前、京都橘女子大学キャンパス再整備事業が始まった時からアルパックはお手伝いをさせていただいてきました。当時の建物は「清心館」の建設に伴って解体された学生寮を最後にすべて一新されました。しかし、当時大学の職員の方々が見出で外壁のペンキ塗りをしておられた姿は綿々と語り継がれ、そんな迫力に引き込まれるように仕事をしてきた私達もまた育てられたのだと思います。4本の柱は私達にとっても青春の樹なのかも知れません。

（大阪事務所 こうさか けんじ）



青春の樹に集う卒業生

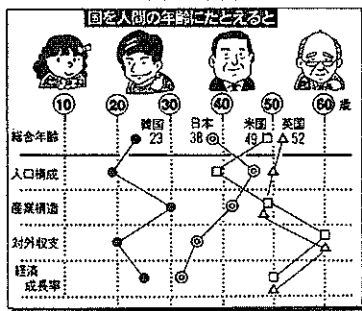
“地域主体の地域産業方策”を

研究活動を継続中

重本 幸彦

今年の正月の新聞に、各国を年齢でたとえた図が載っていて、その図によると、50歳前後に英国・米国が続き、日本は40歳前、韓国は20歳代となっています。大変、示唆に富んだ図といっていいいでしょう。(図)

図 国の年齢



(「日本経済新聞」1993年1月1日)

「日本の産業経済もやがては高齢化し活力が衰えるのではないか」という莫然とした不安を、国民の多くが感じているのではないかと思います。日本が40歳前でまだまだ活力を保っているとすれば、欧米の産業経済の先行例から十分に教訓を学びとって、同じ轍(てつ)をできるだけ踏まないことが望まれます。

地域産業の空洞化の防止を

例をあげますと、「地域産業の空洞化」を防ぐという課題があります。

米国では北東地域(スノーベルト)から西部・南部地域(サンベルト)や海外への産業移動などにより、産業経済的に大きな地域格差が生じています。日本でも、最近、関東から東北地域での産業の伸びが目覚ましいのに比べ、かつてはコンビナート地帯などとして盛んであった近畿・中四国地域などの産業経済的な勢いが落ちています。

若い世代や大企業勤労者は、産業移動に応じた地域移動が比較的容易なようですが、退職した高齢者や商業者を含む中小企業勤労者とその家族などは地域から動きにくく、雇用や営業上の不安にさらされることになります。

これからは「地域主体」の時代

少し分りにくいかも知れませんが、実は従来の地域産業政策は、主として「国家的産業政策の地方版」として展開されてきました。このパターンは、高度成長期とその後の情報化(IC化)といった産業経済の流れが一律的で明確かつ量産的な時には、比較的有効だったといっていいいでしょう。

これに対し、日本の産業が、多様なニーズに対応せざるを得なくなりつつあるこれからは、国などの支援を受けて、各地域ごとの創意工夫により、新しい「地域主体の産業振興方策」を強める必要があると思われます。各地域がしっかりすれば、国全体も元気な体を保てるという考えです。

例えば、地域が研究機能や人材など地域シーズを活用して、大企業を含む優れた技術などを持った企業間のネットワークなどによる「地域産業コンプレックス(複合関係)」の形成により、地域に根ざした安定した産業構造を形成すること、特にその尖兵たる「中堅企業」を育成し支援することなどがあげられます。

アルパックでは、現在、所内外のメンバーと地域産業問題の独自の研究を続けています。これらの問題に関して、皆様のご助言・ご指導をよろしくお願いします。

(大阪事務所 しげもと さちひこ)

「エチオピアの地域づくり」

飢餓の地の農村復興に取り組む日本国際ボランティアセンター

高田 昌幸

昨年、アルパックを退社し、現在地域づくりのボランティアとしてエチオピアで活躍している高田さんから寄稿していただきました。

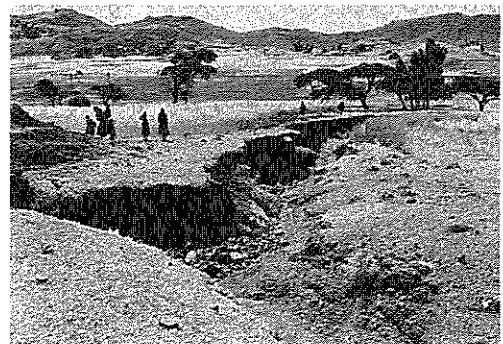
私は地域づくりにかかわっていくほど、都市生活者として、また日本人として次第にある種の自己矛盾を感じるようになりました。そしてこの居心地の悪さから逃れるためには、日本でもっと地域に入り込み、それぞれの関係を意識した地域づくりの可能性を追求するか、あるいは今世界の底辺に位置づけられ、苦しみもがいている第三世界の現場に入って、そこでよりよい地域づくりを目指して共に頑張ってみるか、このどちらかしかないだろうと考えるようになりました。1992年の春に偶然エチオピアの地域づくりを通して自分を試すことのできる機会があることを知ったので、とりあえず今しかできないだろうとエチオピア行きを決めました。

こうして8月下旬、研修を経て、私は世界の最貧国であり、常に飢餓に脅かされているエチオピアの北部地域、マーシャ村にやってきました。

マーシャ村の現状

マーシャ村は首都アジスアベバから車で北へ1日のところにあるデセという町から、さらに西へ岩だらけのデコボコ道を1日走ったところにある、標高2,850m、人口約1,300人の小さな市場町です。ここからさらに奥には慢性的な早ばつに悩む飢餓の地が広がっています。マーシャでは毎週月曜日に市が開かれ、周辺部から多くの農民達が集まってきて家畜や生活必需品の売買とともに情報の交換を行います。私達の活動はほぼ東京都の面積に匹敵する地域を対象としています。私達が活動の拠点をこのマーシャ村に置いたのは、この村の地域での物流、情報の中心性に着目したからです。

地域の中心といえどもマーシャの人々の暮らしは決して豊かなものではありません。電気はおろか清潔な水すら手に入りません。男は岩だらけの痩せた土地をひたすら耕し、女は川へ水汲みに行きます。子供は弟や妹の面倒を見ながら家畜の世話をします。夜は家の中で火を囲んで家族の団らんを静かに楽しみます。食べ物には豆を煮たものが主流です。家



畜は貴重な換金用財産であり、食用とするのは年1～2回です。

物が比較的集まってくるマーシャでさえこのような状況ですから、周辺の飢餓に脅かされている地域の生活は推して知るべしです。周辺部を含めると私達の対象地域の人口はおよそ5万人を推定していますが、これらの人々の中で特に老人や病人、栄養失調児は、私達が手伝っている小麦の配給がなくなればたちまち死に直面するであろう状況です。

何が問題なのか

彼らの生活はずっと昔からこのように悲惨だったわけではなく、今世紀初頭には国土の40%を緑豊かな森林が覆っており、人々は紀元前以来培われてきた誇り高き文化を独自に開花させていたようです。しかしながら彼らの生活習慣に沿って伐採されてきた燃料や建材用の木の消費量は人口の急増をきっかけとして急激に増加し、人口増に対応する農地の拡大が拍車をかけて、ついに現在残された森林は国土の4%を切るところまで破壊が進行しています。ここまで進行してしまった背景には、かつての社会主義政権の政策によって世襲の認められなかった土地所有制度や昔ながらの生活様式に固執する彼らの態度といった社会的要因も認められます。しかし、近年頻発する大旱ばつや森林伐採による土壌流出の加速度的な農業環境破壊など、人間の予測

をはるかに上回る激しさと襲ってくる自然の脅威に対して、彼らにはもはやなす術がなく、かえって近視眼的になってしまったといった状況が、なかなか森林の回復の方向に人々の意識が向かっていかない要因のひとつとなっているように思われます。

森林の破壊はご存知のように土壌の流出をはじめ生態系の破壊、水資源の枯渇、洪水、それらが複雑にかかわりあった天候不順などを引き起こします。ここはその見本市のようです。これは農作物に甚大な被害を及ぼし、結果、食糧がなくなってしまいます。そして栄養不足と同時に不衛生な生活環境が病気を蔓延させ、人々を死に直面させています。

エチオピアの地域づくりの方向

このような絶望的な状況に対してどのような取り組み、解決への足がかりを見出したらよいのか。例え絶望的であっても何もしない訳にはいきません。

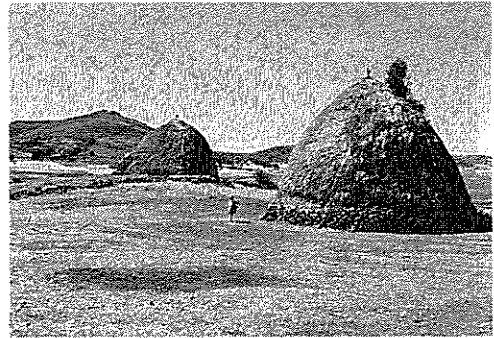
私達のセンターは当初病人や栄養失調児に対する医療プロジェクトをこの地で展開し、幸い数千人の生命が救われました。しかしどうしてそのような病人や栄養失調児が際限なく生み出されるのか、といった本質的な問題に考え及んで以来、破壊された環境の回復が極めて重要であることや、人々の生産環境や生活環境の改善が緊急であることを認識し、農村復興プロジェクトに私達の活動の重点を



置くようになりました。

私はここで、自給自足による「持続可能な地域づくり」に取り組んでいます。東西大國の論理、資本主義の論理などに翻弄され、あるいは翻弄されやすい第三世界が安定した将来を迎えるためには自給自足を主眼においた地域づくりを目指す以外にないと考えています。この「持続可能な地域づくり」という目標を地域の人々と共有し、①植林を中心とした生態系の回復、②土壌保全や地力の回復による農業環境の改善、③保健衛生の充実による生活環境の改善、の3つの柱を中心とした活動を展開しています。

日本での最近の地域づくりというと基盤整備や産業おこし、目玉づくり、交流づくりなどが一般的かもしれませんが、ここでは極めて基本的な、人間が生きるために最低限必要とされる諸環境の改善がまずは必要となっています。そして基本的であり、解決すべき諸問題も認識しやすいがゆえに、そこに絡んでくる様々な立場の人々の思惑やエゴなどがこ



の活動を進める際に非常に直接的に表出してきました。私は今、それらの人間関係の中でかけひきしながら地域づくりの方針を策定し、それだけでなく、それを地域の人々と共有し、目標の実現に向けて共に一歩ずつ進んでいくことの大変さ、困難をひしひしと感じつつ、時に実際の地域づくりの真只中にいる、という充実感、自己の存在感を確認しています。地域づくりというものが、人々のかかわりあいの上であり、地域が丸となった良好な人間関係があってはじめて進められるものだということを今あらためて感じています。

(九州事務所OB たかた まさゆき)

～泰さんのあんな京都こんな京都®～

岩滝町 ユニークな医師派遣システム・与謝の海病院

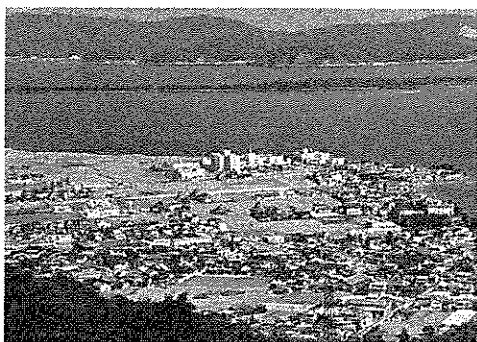
山田 泰造

京都府北部宮津市の西隣岩滝町(人口6,950人・面積12km²)に、阿蘇海に面し天橋立と相對して府立与謝の海病院(以下当病院)があります。診療科目は8科で、220床、医師24名、1日平均外来及び入院患者360・172名(平成3年平均)です。平成5年1月、総合病院化のための、外来診療棟・病棟の竣工式が知事・丹後11市町長が出席して行われました。同6年4月から、耳鼻咽喉・産婦人科の開設により、225床の総合病院として発足の予定です。当病院の生き字引である副院長辻

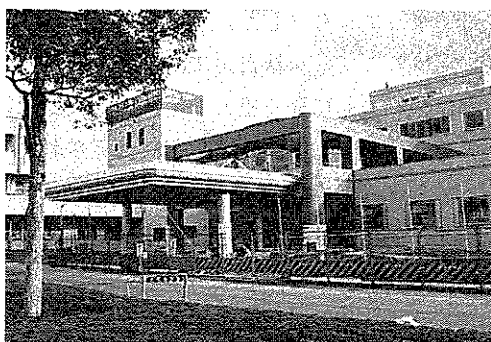
俊三先生をお訪ねし、お話をおうかがいしました。

与謝の海病院の誕生と存亡の危機

昭和28年8月丹後地方の結核の大流行により、11市町長の強い要望で京都府は300床の結核療養所を当所に設けました。やがて医療の進歩で入院患者も200人を割るようになり、36年7月「府立与謝の海病院」と改称し、内科外科7名の医師で一般診療を開始しました。40年代前半、全国的に学閥紛争が続発し、その影響をうけ当病院の医師が大学に引上げは



大内峠より見た病院遠影



増築工事中の新病棟

じめ、45年には院長は府衛生部長兼務、常任医師2名となり風前の灯の状態でした。

病院の救済と地域医療の推進

京都府立医科大学（以下府医大）の紛争は44年秋に終息しました。その場しのぎではない恒常的な医師の派遣と、整備された医療施設が、当病院の救済と地域医療の推進に不可欠であるという認識の下に、45年11月府と府医大との間に次のような話し合いが成立しました。

ユニークな医師派遣システム

昭和46年6月、府医大内に医療センターという組織を作り、卒業後6～7年の医長クラスの医師をここから派遣する事とし、まず当該医師を府の技術吏員に任命し、同時に府医大から例えば助手を併せて命ずるという教員併任の辞令と、センター所員を命ずる辞令を出します。派遣医師は府職員と府医大教官とセンター所員の3つの身分を併せ持ちます。派遣医師には週1～2日府医大での研究・診療を可能にし、身分に心配する事もなく任地で業務に専念でき、期限が来れば府医大に帰れるというのがこのルールの特長です。これまで府医大関連病院へ派遣される医師は大学に復帰できる保証はなく、復帰の日を心待ちにするというのが通例でしたが、派遣期間を限る事により将来の希望を持ちつつけられるようになりました。

46年当時はセンターから10名が、そして現

在では25名が当病院に派遣されており、当病院以外に府立洛東病院14名、府の保健所12名、府福祉部・保健環境部に17名が派遣され、所員69名が各々の職場で活躍していますが、このようなシステムは日本では勿論、世界でも例を見ないということです。

病院の改築と施設の改善

派遣医は「大学並みの高度医療」を目標とし、地域医療の先駆者たらんと完備した病院を求めました。50年増改築工事開始、51年から毎年のように新病棟が竣工し、新鋭機器も次々と導入され、眼科等の3科の増設と、今日見られる整備された病院となりました。医師等の献身的な努力と多くの人々の協力により「大学並みの高度医療と完備した設備」の思いが実現しつつあるのです。

今後も、十分に訓練された有能な若手の医師により、整備された環境の下で、人々の信頼と安心感を得て、生命を守り、地域医療の先端を担っていかれることを期待します。

（京都事務所 やまだ たいぞう）

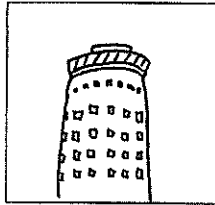
～'93新入所員紹介

今年アルパックの公募展に名画が10点入選しました。作者のプロフィールもあわせて皆さんごゆっくり鑑賞してください。絵はともかく今後とも、よろしく願います。

【京都事務所】

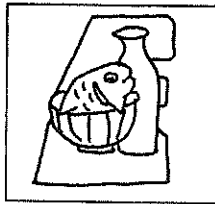
石川聡史（第4計画部）

生まれも育ちも大阪。吉本新喜劇を見て育ったので、ボケと突っ込みが両方できます。ニュージーランドで高さ43mのバンジージャンプをしてきたので、怖いものがない。これからはやすらぎの空間をつかっていきたい。



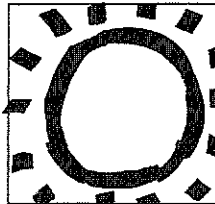
嶋崎雅嘉（第3計画部）

うまい酒にうまい魚がある北陸は小松市がふるさと。冬は、カニにブリにと天国のようなうまさ。特に、うまい水でつくられた酒を飲んでみると、日本人に生まれたことがありがたくなってしまいます。



原田和子（第2計画部）

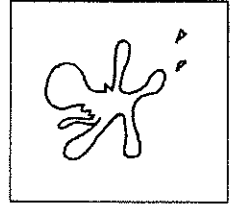
出身地は山口で、空気、水が美味しいということは財産だと離れて知りました。観光地としての華やかさはないけれど、命の洗濯をするには格好の故郷です。最近道を歩いていて、働き始めたらお日様をおがむことも少なくなるのかなぁと感じています。他人に負けないことは口八丁ということ。



【大阪事務所】

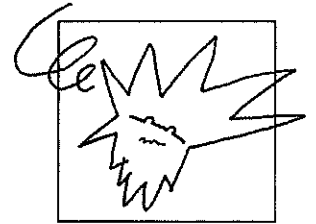
角南禎子（第1計画部）

岡山で育ち、長崎で学び、そして大阪へと来た私には、大阪は土がなかなか見あたらず、地上の街と地下の街が2つあるように思えます。自慢できることは、洋タンポポと和タンポポ、それぞれの美味しい食べ方を知っていることです。数年後の私は、愛されるアルパックのスーさんとよばれているでしょう。



原田稔（建築部）

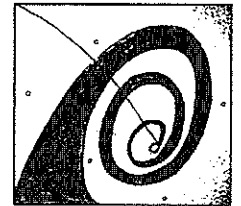
ちょっとここでは言えないという特技を持っています。出身地は舞姑さんに会える京都で、何にでも興味をもってしまいうミーハーな性格の持ち主です。



【名古屋事務所】

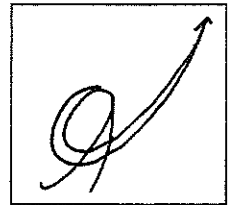
井上典子

自分の成長が他人と共にあり、夢や仕事や生き方がもっと広く大きい世界につながって、そこから何かが生まれるような年齢の重ね方をしていきたいと思っています。近い将来は、仕事と関連のある論文を書いて本を出しているといいなぁ。



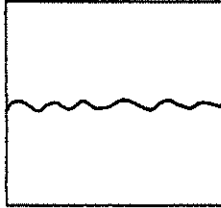
中西由起

最近舗装された道を歩いていると新入生を連想します。適度な広さ、適度な空間、適度な人口による適度な混雑と閑散を持つ名古屋出身です。



松本幸生

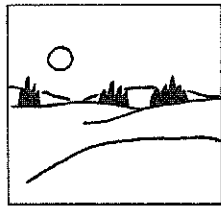
今までの人生の中で役に
たったと思うことは、子供
を交通事故から救ったこと。
故郷の鹿児島は、海の幸が
豊富で、4月から10月まで
海水浴ができて、年中夏気
分を楽しめます。



【東京事務所】

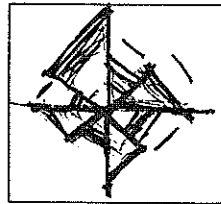
東原史明

大学の時、サークルで部
長をしていて周りの人を楽
しませてきました。これか
ら、笑いを提供したいで
す。最近、腹が立ったこと
は自分の部屋が片づかない
ことです。



望月博司

東京湾と相模湾を首を動
かすだけで見ることができ、
小川には蛍がいるというど
ても街とは思えない横浜で
育ちました。他人に負けな
いかどうかは分からないで
すが、方向感覚は良いほう
だと自負しています。



念 ず れ ば 、 花 開 く
地域デザイン会議'93
「京都デザイン会議」報告
三輪 泰司

3月23・24日の両日、国立京都国際会館で
地域デザイン会議'93「京都デザイン会議」
が開催されました。開催委員長と致しまして
成功を喜び、ご協力に感謝致します。

なぜ地域デザイン会議か

「京都デザイン会議」は、1981年以来、回
を重ねて今年はその第13回目に当たります。

主催は、京都デザイン関連団体協議会（京
デ協）で、昨年9月から企画委員会・実行委
員会をつくって準備に取り掛かっていました。

1月12日、日本産業デザイン振興会（産デ
振）が、地域振興プロジェクトとして京都で
デザイン会議開催を計画されていることを知
りました。1月26日、京デ協参加12組織の団
体長と実行委員会の合同会議を招集し、京都
府・京都市・商工会議所からの出席も頂き、
産デ振の「地域デザイン会議」と合体し、共
催として行うことを合意しました。

これが今回の会議への簡単な経過ですが、
実は、それからが忙しくなりました。地元で
府・市・会議所とファッション京都推進協
議会・産業デザイン振興懇話会および京デ協
で開催委員会を編成し、実行は京デ協が担当
しました。

おかげさまで、メイン・テーマ「京都デザ
イン・ルネッサンス—地域から世界へ—」の
下に、アメリカのアート・センター・カレ
ジ・オブ・デザイン(ACCD)のブラウン学長・
京都市立芸術大学の上山春平学長・I Dデザ
イナー喜多俊之氏の講演、デザイナー手作
りの7つの分科会、各地の交流会等々に、北
海道から九州まで、430名のご参加を得て、平
安建都1200年記念の前夜祭にふさわしく、盛
大に行うことができました。

デザイン・ルネッサンス

まさに今、バブル経済が崩壊し、デザイ
ナー、クリエイターまで商品化してしまっ
ていた経済システムがおかしくなりました。

産業にも地域にも、活力を与えるのはデ
ザインではないか、と期待されています。

ミラノで活躍されている喜多氏のお話では、同じように戦火で国土が破壊されたイタリアでは、日本と同じような復興の姿をとり始めたのですが、1950年代から方向転換をしたそうです。いまのイタリアの風光は、環境デザインとしてつくりあげたものです。それが日本と同様に大した資源のない国で、世界に優れたデザインの商品を送り出す源泉になっています。

今秋、グラスゴーで開かれる国際デザイン会議も「デザイン・ルネッサンス」をテーマに掲げています。

平安京ができて 100年目に遣唐使が廃止され、文化の日本化が始まりました。中世、琳派に代表される芸術とデザインの結合が、桃山文化へ繋がりました。ACCDがアジア校設立を京都に着目しているのも理由のあることです。日本が日本に気付くのに回り道をしていました。

日本の「形と心」を見直す「ルネッサンス」は京都から、その一念でやってきました。通産省・産デ振を始め、皆さんのおかげで、今回の京都デザイン会議は、デザイナーだけでデザインを議論していた時代を過ぎて、行政や産業界と一緒に行動する転機となりました。さて来年はどうしようかと心配です。皆様のお力添えて、花開くことを念じています。

(代表取締役会長・京デ協議長 みわ ひろし)

日本人との付き合い 当麻 テレーザ 理恵子

- おいくつですか。
- 出身地はどこですか。
- 専門は何ですか。

と言う決まり言葉で日本人との付き合いがはじまったように感じました。私にとって、人との付き合いは、おたがいに語り合うことができれば、気持ちが通じれば、年の差や出身地、専門は関係ないと思います。

日本の企業で働いている人々は自分や家族のことより、仕事の方をもっと大切にしているようです。でも、社内では毎日顔を合わせても、おたがいのことや気持ちを知らないように感じます。

ブラジルでは、このような生き方は考えられないことです。皆はのんびりした生活の中で、いつも自分や家族のことを大事にしながら仕事をしています。

そして、人と人との付き合いは、STATUSや年の差、性別に関わらずに始まり、また続きます。皆は本音の気持ちで付き合いします。

この一年間の研修は、長いようで短い時間でした。会社の環境や仕事になれたところで帰国する時が来ました。皆さんとの付き合いはここで終わると思わず、これからも続けたいと思います。

いろいろとお世話になりました。本当にありがとうございました。今後、ブラジルへ来ることがあれば、ぜひ連絡下さい、案内しますから。ひまの時には手紙下さい。

ATE BREVE AMIGOS, E MUITO OBRIGADO.

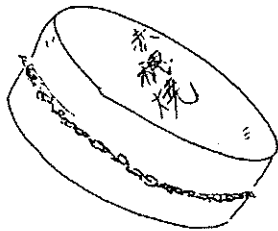
(とうま てれーざ りえこ)

～昨年4月より1年間の京都事務所での研修期間を終え、本国ブラジルに帰られることになりました。日本やアルパックでの思い出やいろいろな経験を今後の糧にしてほしいと願っています。御苦勞様でした。(編集局)～

うまいもの通信⑬
 中身の名古屋・見かけの東京？
 福井 守
 平岡 千佳子

その1 赤穂焼

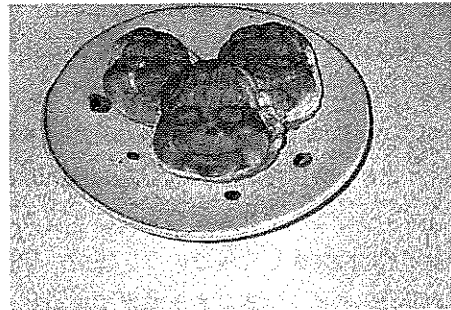
名古屋市瑞穂区堀田通を少し南に行ったところに、こどもからお年寄りまで幅広く根強い人気を誇る「赤穂（あこう）焼」という菓子が60年ほど前から売られている。未だに手作りという評判が、製法は、たっぷりと卵を使って作った生地で餡を包み鉄板で火を通して形づけるという、大判焼き（回転焼き）に見られる製法とほぼ同様でオーソドックスなものである。



本来あまり甘い物を食さない私でも、この餡はあっさりとした甘味で美味しく食べられる。見た目には趣向を凝らしているわけではなく、名古屋の名物とまでは言えないと思うが、冷たい風の中、赤穂焼を持つ手に伝わる熱さを楽しみながら、パクついている姿を想像していただければ、皆さんの口の中にも、さっぱりとした甘味がひろがるのではなからうか。（名古屋事務所 ふくい まもる）

その2 神楽坂のペコちゃん焼

東京の神楽坂にある不二屋のペコちゃん焼が、今さかんに雑誌に取りあげられています。要するに鯛焼がペコちゃんの形をしているだけですが、ここでしか買えないというのが人



ペコちゃん焼

気の大きな理由のひとつのようです。

わたしが買ったときも15分ほど並びました。20歳前後のうら若き女性が一人で製造販売していました。作り置きができないほど売れていくため、焼く前にオーダーを聞かれますが、もたついているとしかられそうでした。味は小倉、パンプキン、チョコレート、カスタードクリーム of 4種類。焼きたてがやはりいちばんおいしく、鯛焼ほど大きくないので、一人2個は食べられます。

あまりの人気の高さに東京駅でも販売を始めると新聞に載っていました。東京みやげに困ったときに最適だと思います。

（東京事務所 ひらおか ちかこ）

アルパック・インターナショナルが移転

（株）アルパック・インターナショナル（略称 A I I、代表取締役社長霜田稔）の事務所が、4月1日からアルパックの大阪事務所と同じ所に移転しました。

同社は4年前に発足し、サイエンスや地域整備の調査・計画など独自の活動を続けて来ましたが、このたび、アルパックとの連携態勢を強め、産業経済・大学問題・R&D分野など得意分野の拡大を図り、活動をより強化することにしました。

今後とも、アルパックともども、お引き立てのほど、よろしく願いたします。

[新しい所在地などは、本号の最終ページに]

新刊旧刊書評紹介

金子 純代 著
今給黎教子 著ヨットが好き
風になった私朝日新聞社刊
毎日新聞社刊

紹介：西田 昌治

「ヨットが好き」の粗筋は、金子さんという一人の普通のOLが、暇つぶしでヨットを始めたのをきっかけに、どんどんヨットの魅力に取りつかれ、いつの間にかヨットレースの楽しさや海の怖さを知り、自分の力で太平洋を縦断したくなり、豪州メルボルン～大阪間ダブルハンドレース（1隻のヨットを2人だけで軌走）を完走するまでを綴ったものです。

詳しい内容について紹介しますと、まずこの航海実現の一番の難所は、ヨットレースに出場するためのヨットの購入及び改造等を含め、約50日間の航海で約7千万円程度の費用がかかる事です。そのためにはスポンサーを探す作業から始めなければなりません。彼女の場合は、ヨットを始めて5～6年の間に積極的にヨットに関わり（レディースチームの結成、ケンウッドカップのサポート等）、また色々な人との交流、友達の輪をひろげることによりチャンスの機会をとらえ、ヨットレースに関する自分の企画書を企業に認めてもらいレースに参加することとなります。

次に、一緒に航海をしてくれるパートナーを探す作業、実際にレースを行う為のヨットの改造等のハード面での作業等を行い、ようやくヨットレースに参加する事が出来るわけです。彼女のような熱い思いと行動力があれば、自分の夢を現実の夢にすることが出来るのだということがよくわかりました。

そのほかにも、ヨットレースの練習を兼ねた事前の航海での後悔談や、本レースでの記録等が書かれており、あまりヨットに興味のない人でも面白く読める本だと思います。

私の感想として、自分自身の事を考えた場合、自分の夢のために多くの人々に自分の情熱と夢を語り、賛同してくれた人達を自分のサポート組織として活用出来るかと問われると多分無理なような気がします。都市計画等においても、地域づくりを情熱を持って語れるようになりたいと思っています。

もう一冊、今給黎（いまきいれ）教子さんという女性の、単独無寄港世界一周（279日間）の記録をまとめた本「風になった私」も感動的な内容です。女性が単独で世界一周の航海に出かけたことも勿論のことですが、彼女もまた、一つの自分の夢を実現する行動力を持ち、自分の情熱を人に伝えまた自分の夢に参加してもらった応援団を組織できた点に一番感動しました。本の最後に、「私は独りの航海をやってきたけれど、多くの心が『海連』（ヨット名）の上にとともにあったと思う。孤独な航海を支えてくれたのは、そういう人のこころだった。」と締め括っています。

このような情熱を持った人達の本を読んで皆で元気になりましょう。けっして独りで生きているのではないとわかります。

（京都事務所 にしだ まさはる）



まちかど

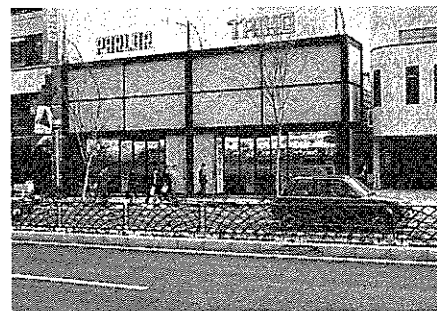
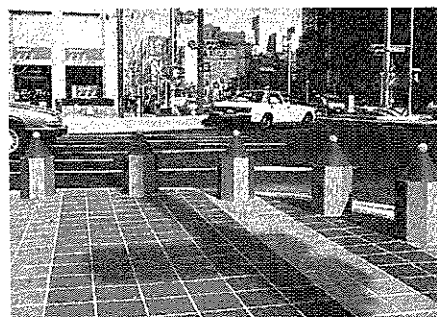
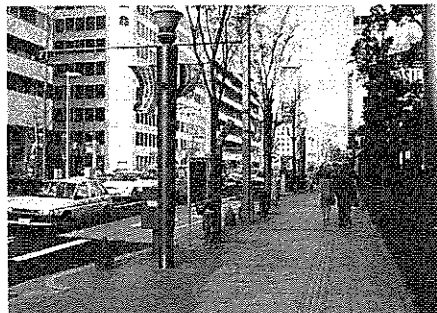
一風変わった都市景観

福井 秀樹

名古屋のメインストリート広小路通りが面目を一新した。美しいベネチアングラスの照明を乗せた柱状の街路灯を両側の歩道に列柱のように設置、その脇に美しい女王を護衛する兵士をイメージしたボラードが設置された。出現した列柱景観は、ボラードなどデザイン過剰と思える部分もあるが、目立つことにより、広小路の軸性をきわだたせ、おとなしい建物が多い名古屋の街では意外とマッチしているように思える。

そんな広小路にこのほど一軒のパチンコ店が新装オープンした。年々派手になるその外観であるが、このパチンコ店はメインストリートとしての街の景観に配慮したとのことから、これがパチンコ店かと疑うほど落ち着いたデザインとなっている。街並について考えた結果、目立つ街路灯と、目立たないパチンコ屋が出現した。個々の評価はさておき、一風変わった都市景観だと思う。

(名古屋事務所 ふくい ひでき)



アルパック (株)地域計画建築研究所

ARCHITECTS, REGIONAL PLANNERS & ASSOCIATES, KYOTO

本 社	〒600	京都市下京区四条通り高倉西入ル立売西町82 (大和銀行京都ビル6階)	TEL (075)221-5132(代)
京 都 事 務 所			FAX (075)256-1764
大 阪 事 務 所	〒540	大阪市中央区城見1-4-70 (住友生命OBPプラザビル15階)	TEL (06)942-5732(代)
			FAX (06)941-7478
名 古 屋 事 務 所	〒460	名古屋市中区丸の内3丁目18番30号 (ツボウチビル2階)	TEL (052)962-1224(代)
			FAX (052)962-1225
東 京 事 務 所	〒160	東京都新宿区新宿2-5-16 (露ビル401号)	TEL (03)3226-9130(代)
			FAX (03)3226-9560
㈱九州地域計画 研 究 所	〒810	福岡市中央区天神1丁目15番1号 (日之出ビル6階)	TEL (092)731-7671(代)
			FAX (092)731-7673
㈱アルパックイン ターナショナル	〒540	大阪市中央区城見1-4-70 (住友生命OBPプラザビル15階)	TEL (06)965-2012(代)
			FAX (06)965-2014
㈱都市居住文化 研 究 所	〒604	京都市中京区東洞院通六角上ル 三文字町225 (朝陽ビル4階)	TEL (075)252-2231
			FAX (075)252-4417